

ダイセーロジスティクス(株)は、このような SDGsの取り組みを行っています！



SDGsの17の目標から、わたしたちが地球に向けて活動していること、当社に関わる持続可能な目標をご紹介します。

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>目的：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毎年(6月・12月)に全センターにおいて、住所管轄地の「社会福祉協議会」へ寄付及び「古切手」寄付を行っています。 ●全社一体となってペットボトルキャップを回収し、恵まれない子供たちへ「ポリオワクチン」の寄付を行っています。 ●プルタブ回収し、車いす寄付のお手伝いをしています。 ●SDGs 私募債発行を行い、発行手数料の一部をセーブ・ザ・チルドレンジャパンへ寄付を行っています。 ●ピンクリボン活動(寄付とバッジ着用)を行っています。 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>目的：すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>目的：包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種研修(新卒入社研修・中途入社者研修・管理職研修・ハラスメントセミナー・安全教育セミナー・ドライバー研修等)を取り入れた活動を行っています。また、免許支援制度を導入し、入社後からも各種免許取得のバックアップを行っています。 ●働きやすい職場認証制度(運転者職場環境良好度認証制度 一つ星)に合格しています。
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>目的：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●職場におけるハラスメント対策の一環として、社内外のヘルプライン窓口を設置しています。 ●毎月1回のWEBミーティングにて、各拠点の女性 Crew 会議を行っています。 ●女性委員会発信で、役員・センター長・女性 Crew は「SDGs バッチ」を着用しています。 	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>目的：すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p> <p>目的：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●倉庫部門:古河スーパーハブセンター、杉戸スーパーハブセンター、八千代スーパーハブセンターにて太陽光発電を行っています。 ●車両部門:やさしい車両の導入や、全センターGマーク取得しています。グリーン・エコプロジェクトと尿素 SCR システムを活用し、全車 CO2(25%)削減に取り組んでいます。
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>目的：レジリエント（柔軟性）なインフラ構築、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DX(デジタル・トランスフォーメーション)構築を進めています。(取組例:AI 自動配車システム、RPA 業務自動化、WMS (Warehouse Management System)/TMS(Transportation Management System) /ハンディターミナル、静脈認証動急管理、モバイルアプリ開発、予実管理システム、AI 総合配車センター設置、車両マスタ管理システム、セルフ点呼システム、全センターデジタルサイネージ導入、問い合わせチャットボット導入) ●情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS:Information Security Management System)の国際規格である「ISO/IEC27001:2013」の認証を取得しています。 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>目的：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> <p>目的：持続可能な消費生産形態を確保する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全社でリサイクル運動を継続しています。(環境4Rのうち2R実施中。ペットボトル回収・古紙回収・段ボール回収・鉄くず回収・使用済みストレッチフィルム回収等)を行い、ごみの減量化と・資源リサイクル・リユース分別の徹底をしています) ●古着リサイクルの回収を行い、一人でも多くの難民の方のお手元に届くよう活動しています。 ●カーボンオフセット付きユニフォームを導入し、1着あたり約5kgのCO2削減(2021年度実績では2,155kgのCO2削減)をしています。

3 すべての人に
健康と福祉を



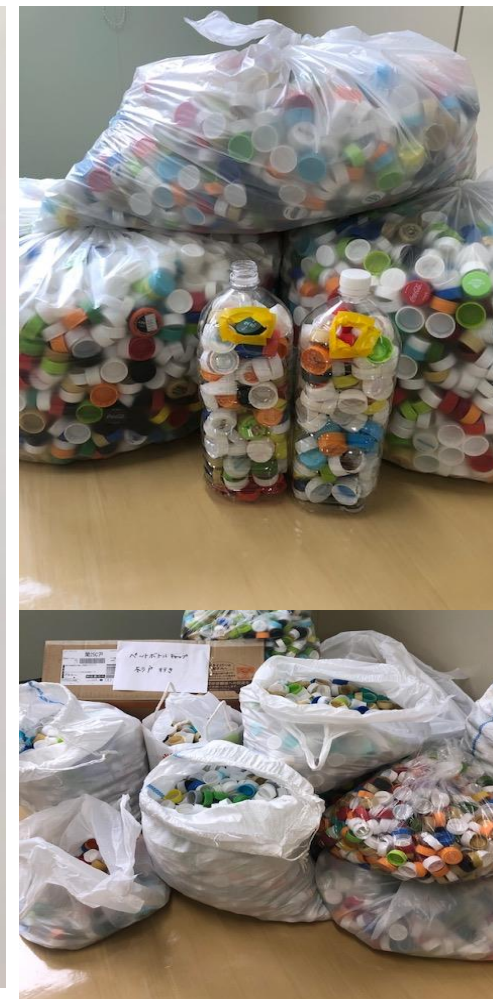
目的:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

○毎年（6月・12月）に全センターにおいて、住所管轄地の「社会福祉協議会」へ寄付を行っています。

○全センターで「ペットボトルキャップ」回収し、世界中の恵まれない子供たちへ「ポリオワクチン」の寄付を行っています。

○社会福祉協議会への寄付金のほかに、「古切手」や未使用タオルなどの寄付も継続しています。

○SDGs私募債発行を行っています。





目的:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

○SDGs私募債発行手数料の一部を「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」へ寄付しています。

○すべての女性と患者さんのために認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）へ寄付をしています。女性Crewはピンクリボンバッチを着用しています。

○コンタクトレンズケースのリサイクルを行い、回収作業で障がい者の方の自立・就労支援の為の支援及び、公益財団法人：日本アイバンク協会への寄付をしています。



生きる、育つ、守られる、参加する。
世界中すべての子どもの権利が実現された世界を目指して。

セーブ・ザ・チルドレンは、子ども支援活動を行う民間・非営利の国際組織です。第一次世界大戦後、多くの子どもが栄養不良に陥っていたなか、飢餓方を越えて子どもたちを助けよう立ち上がったエグラントイン・ジェブが、1919年にイギリスで創設しました。



<p>緊急・人道支援</p> <p>自然災害や紛争などの影響を受けた子どもや地域社会に対して、迅速かつニーズに合った支援を行い、人々が日常生活を取り戻したり、生活を再建したりできるようサポートします。</p>	<p>保健・栄養</p> <p>妊娠前と妊娠中のケア、感染症や栄養不良の予防と治療、保健システム強化などを通して、すべての子どもやその家族が、良質な保健サービスを受けられるよう支援します。</p>	<p>教育</p> <p>すべての子どもが高い教育を受けられるよう、学習環境の改善、教員の能力養成、地域社会の意識向上、就学前教育の普及などの活動を通して支援します。</p>	<p>アドボカシー（政策提言）</p> <p>国内外の子どもにもまつる問題の根本的な解決に向け、政策決定者や組織、個人に対して働きかけを行います。</p>
<p>子どもの保護</p> <p>子どもを暴力、虐待、搾取から守るための取り組みや、安心・安全に成長できる環境づくりを、行政や地域社会、保護者、子どもたちなどさまざまなステークホルダーとともに推進します。</p>	<p>防災（災害リスク軽減）</p> <p>防災に子どもたちの声が反映され、災害時に子どもたちが主体的に行動できるよう、地域社会の防災体制を強化し、子どもを中心とする防災を推進します。</p>	<p>子どもの貧困</p> <p>すべての子どもが生活や成長に必要なものやサービス、機会を得られ、可能性を發揮できるよう、直接支援や社会啓発、政策提言を通して、子どもの貧困問題の解決に取り組んでいます。</p>	<p>2020年度会計報告</p> <p>93%が、世界中の子どもたちのための事業費に充てられています。</p> <p>管理費 7% 事業費 93%</p> <p>経常費用 18億3,440万円</p>





目的:すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

○各種研修（新卒入社研修・中途入社者研修・管理職研修・ハラスメントセミナー・安全教育セミナー・ドライバー研修等）を取り入れた活動を行っています。

○免許支援制度を導入し、入社後からも各種免許取得のバックアップを行っています。

○女性委員会では、当社で働く上で大切にしたいマナーをマナーブックにまとめ、全Crewに共有しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

[教育・福利厚生 | 採用情報 |](#)
[ダイセーロジスティクス株式会社](#)
 [\(daisei-log.com\)](http://daisei-log.com)



8 働きがいも
経済成長も



目的:包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の 完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク)を促進する

○働きやすい職場認証制度

(運転者職場環境良好度認証制度 一つ星)に合格しています。

※「働きやすい職場認証制度」(旧:ホワイト経営認証制度)とは
職場環境改善に向けたトラック、バス、タクシー事業者の取組みを「見える化」
することで、求職者の運転者への就職を促進し、各事業者の人材確保の取組みを
後押しすることを目的とした制度です。



一般財団法人 日本海事協会
交通物流部長

運転者職場環境良好度認証制度審査結果通知書

貴社からの2021年度運転者職場環境良好度認証制度審査申込について、運転者職場環境良好度認証制度認証規則3.1-6の規定に基づき、下記のとおり審査結果を通知いたします。

記

【一つ星審査結果】 審査結果 1)2)	合格
【備考】	

以上

運転者職場環境良好度認証制度
働きやすい職場認証制度
登録証書

登録番号: 20LD2367-000

ダイセーロジスティクス株式会社
本社

東京都文京区本駒込5-28-7
事業種別: トラック

上記組織は、働きやすい職場認証制度において、
本会の規則に基づいて審査した結果、認証され(一つ星)、
本会の働きやすい職場認証制度登録簿に登録されたことを証明する。

本証書は、2023年6月30日まで有効である。

発行日 2021年4月22日

国土交通省指定
働きやすい職場認証制度 認証実施団体
一般財団法人 日本海事協会

国土交通省

ClassNK 交通物流部長 平田 純



目的:ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び 女児の能力強化を行う

- 女性委員会主体で、ジェンダー平等に向けた取り組み及び、女性の意識向上と能力向上を行っています。
- 職場におけるハラスメント対策の一環として、社内ヘルプライン窓口を設置しています。
- 毎月1回のWEBミーティングにて、各拠点の女性Crew会議を行っています。
- 今後の多様化文化に向けて、ジェンダーギャップをなくすためのガイドライン策定の取り組みを開始いたしました。
- 女性委員会発信で、
役員・センター長・女性Crewは
「SDGsバッチ」を着用しています。



ヘルプライン
開設

●ダイセーログ社内窓口
人事総務部mail
soudan@daisellog.co.jp

●ダイセーロググループ窓口
関東女性委員会mail
kanto.joseilinkai@gmail.com

【社外窓口】〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話専用03-6261-5238(内線) FAX 03-6261-5239
MAIL a-nishiyama@hokuto-to.net

相談内容は、会社の業務に關連した場合、社内ヘルプライン
またはその外部機関へ移行いたします。
個人情報は厳格に管理いたしますのでご安心ください。

ダイセーロジスティクス株式会社

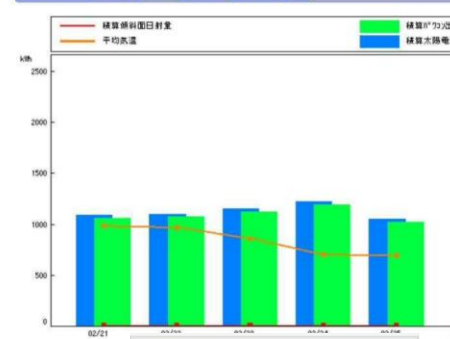




目的:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

目的:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

各スーパーハブセンター（古河、杉戸、八千代）にて太陽光発電を行っています。



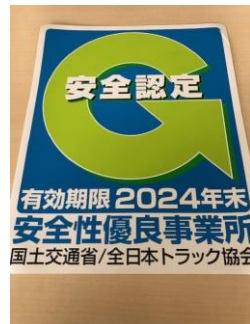


目的:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

目的:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

車両部門ではグリーン・エコプロジェクトを活用し、全車CO2 (25%) 削減に取り組んでいます。環境にやさしい車両の導入や、全センターGマーク取得をしています。

- 排ガス規制車両導入
 - ・2010年～排ガス規制車両導入
- トレーラー導入 (2台で運行するよりECO)
 - ・運行の効率化、運行コストの削減
 - ・運用する車両台数が減り燃料が削減されることにより、車両から排出される窒素酸化物 (NOx)、二酸化炭素 (CO2) の削減効果が期待される＝環境対策
- インタンク&アドブルー (尿素水の使用)
 - ・尿素SCRシステムは、窒素酸化物 (NOx) に対してマフラー内で尿素を噴射することで窒素と水に分解。





目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

DX (デジタル・トランスフォーメーション)を進めています。

(取組例: AI自動配車システム、RPA業務自動化、WMS/TMS/ハンディターミナル、静脈認証勤怠管理、モバイルアプリ開発、予実管理システム等)

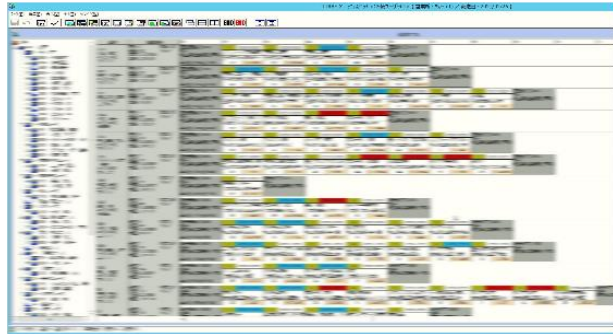
○AI配車モデル ダイセーログ × パロアルトインサイト「Palo-Patch」

受注データを取り込み、前日までの配車実績データ(配車マンの経験値)を元に配車計画、
配送計画を自動立案する機械学習モデルです。

2018年11月より、菓子共配事業の3拠点(杉戸、相模原、関西)で運用のTMS(配車支援
システム)に連携しています。



AIによる自動割付



2019年4月1日付けの日本経済新聞(朝刊、電子版)にAI配車に関する
記事が掲載されました。

日本経済新聞 朝刊 13ページ「私見卓見」

AI、中小企業こそ積極導入を 石角友愛氏 / パロアルトインサイト最高経営責任者

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO43075880Z20C19A3SHE000/>

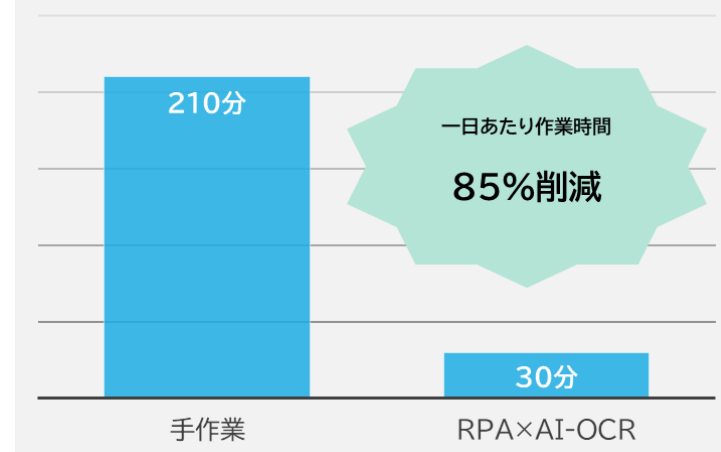
○RPAによる業務自動化

2018年9月よりRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入し、
生産性向上、コスト削減を推進しています。

ルーティン化された業務をRPAで自動化することにより、月間240時間以上の
作業時間削減となっています。

例)受領書返却チェックの場合

(2021年2月現在)





目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

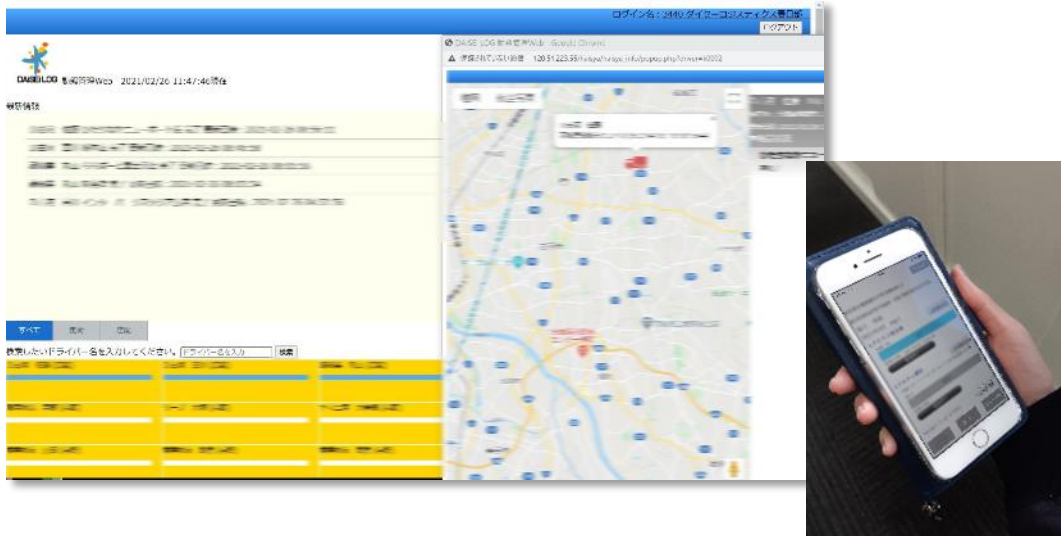
DX (デジタル・トランスフォーメーション) を進めています。

(取組例: AI自動配車システム、RPA業務自動化、WMS/TMS/ハンディターミナル、静脈認証勤怠管理、モバイルアプリ開発、予実管理システム等)

○モバイルアプリ開発(動態管理システム)

ドライバーさんに貸与したスマートフォンのGPSから、位置情報を送信、事務所では管理画面を確認することで、自車便・協力会社便を問わず、リアルタイムの位置情報や、納品の進捗状況を確認することができます。

ドライバーさんに連絡を取らずに状況把握が出来るため、業務効率化につながっています。



○静脈認証勤怠管理

勤怠管理には手のひら静脈認証を採用しています。不正打刻を防げるほか、打刻情報はクラウド上で管理されるため、リアルタイムな集計が可能となり作業時間が大幅に短縮されました。



○予実管理

全センターの予算・予測・実績をシステムに一本化。毎年・毎月の実績データと予算数値の対比が可能となりました。

科目	項目名	年度 2021		期 11上期		センター名 0140-神戸県エムハブセンター		検索	
		前年同期	予算	前年同期	予算	前年同期	予算	前年同期	予算
0110	自動車運賃収入	16,399	15,700	17,084	15,000	16,320	18,400	18,272	17,500
0211	(0) 車庫維持費	6,577	5,076	6,815	5,780	7,088	7,080	7,200	7,880
0212	(0) 車庫材料	795	900	895	900	814	900	868	900
0216	(0) 乗務員賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
0219	(0) 賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
0214	(0) 法定福利費	1,280	1,250	1,288	1,250	1,227	1,250	1,326	1,250
0215	(0) 福利厚生費	306	300	250	250	317	300	323	300
0217	(0) 雑費(倉庫)	0	0	0	0	0	0	0	0
0218	(0) 雑費(車両)	0	0	0	0	0	0	0	0
0220	(0) 経費の繰越	0	0	0	0	0	0	0	0
0221	(0) 消耗品	41	100	111	100	178	100	72	100
0222	(0) 修繕費	27	30	2	30	29	30	16	30
0223	(0) 修繕費	88	0	0	0	0	100	0	0
0224	(0) 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
0225	(0) 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
0226	(0) 水通水光費	175	200	183	200	175	200	188	200
0228	(0) 水通水光費	84	100	93	100	75	100	81	100
0227	(0) 燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0
0229	(0) 燃料費	4	4	5	4	4	4	4	4
0230	小型車両	15	16	15	16	15	16	15	16
0231	小型車両	7	6	6	6	6	6	6	6
0232	合計小計	28	28	28	28	29	28	25	28
0233	車庫維持費	12	14	14	14	14	14	17	14
0234	燃料費	14	12	12	12	16	12	8	12



目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

情報セキュリティマネジメントシステム

(**ISMS: Information Security Management System**)の

国際規格である「ISO/IEC27001:2013」の認証を取得しています。

(ダイセーロジスティクス株式会社 松伏ハブセンター取得)

認証基準に基づく情報セキュリティマネジメントシステムの

継続的な運用・改善に努め、お客様の信頼を

より一層高めることができるよう取り組んでまいります。



GIJP-0395-IC
ISO/IEC 27001:2013



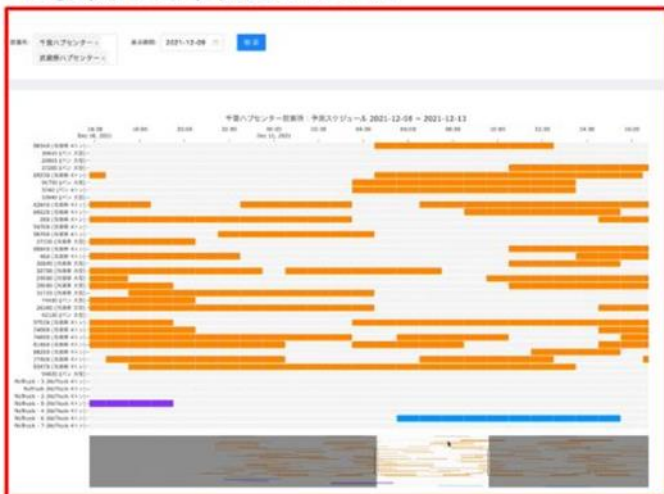


目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

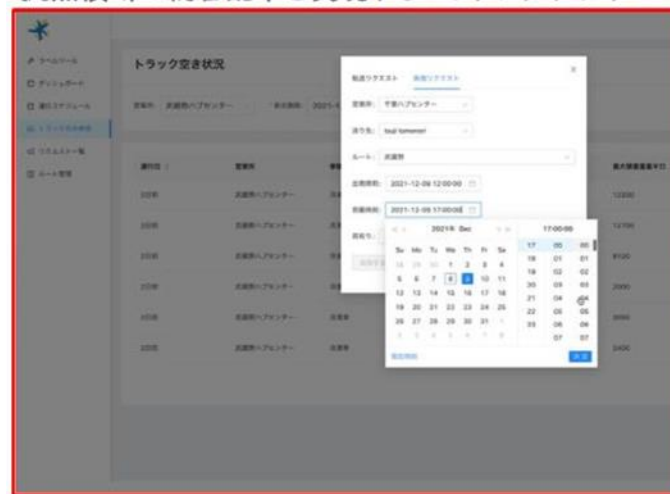
○AI空車予測モデル・AI総合配車センター

AI配車プロジェクト第2弾の「AI空車予測モデル」では運行データをもとに1週間分の空車状況をリスト化。フェーズ2として、リストから拠点横断の総合配車を実現するマッチングアプリの開発を開始しました。同時に、アプリを運用して効果を実現する「AI総合配車センター」を開設しています。

1週間分の空車状況をリスト化



拠点横断の総合配車を実現するマッチングアプリ

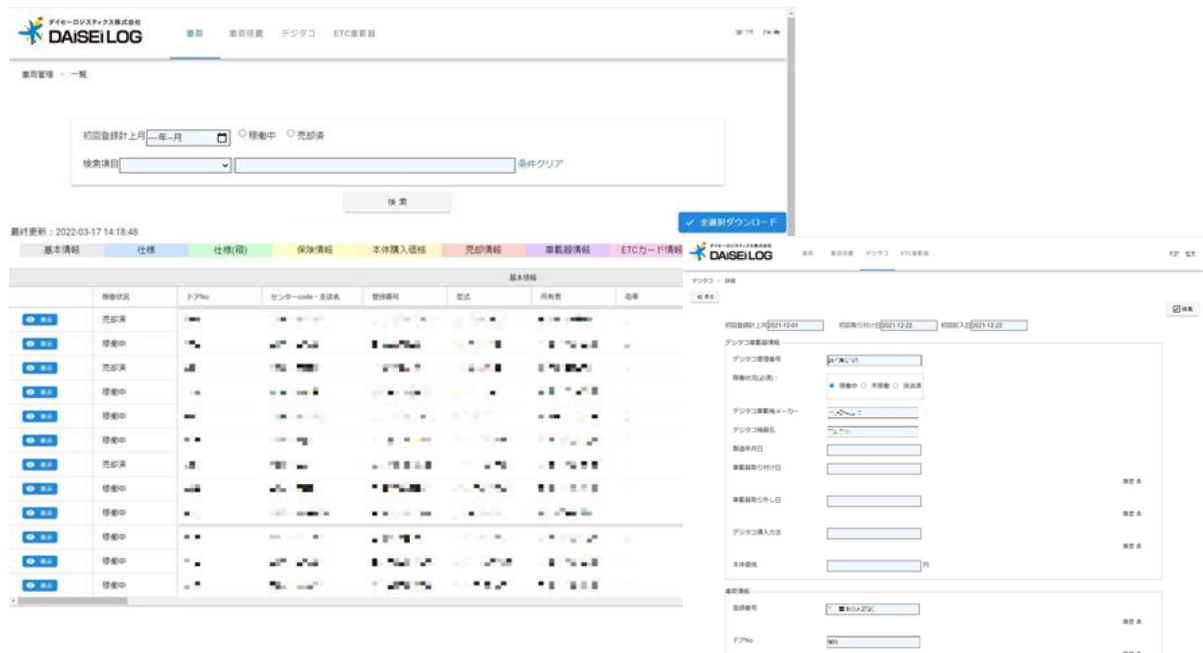




目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

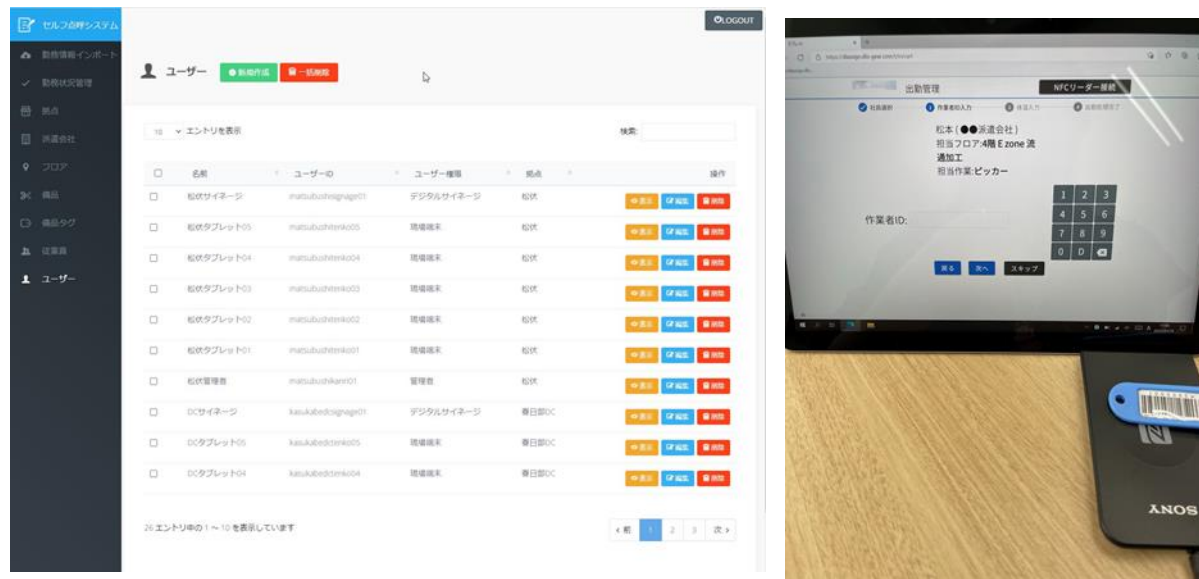
○車両マスタ管理システム

専用プラットフォームによりセンター間同士の共有を円滑に行うことが出来ます。
Excel管理していた車両情報をWeb上で共有することで「**属人化及び無駄な作業**」を解消し業務効率化が向上しました。
車両情報の集約化による管理面の強化を図り、今後は蓄積したデータを活用・分析することによるコスト削減に役立てていきます。



○セルフ点呼システム

派遣Crewの出退勤記録や備品貸出管理を、従来の書面からタブレットに変更することにより、勤怠登録の混雑緩和と管理Crewの負担軽減に貢献。
備品貸出状況の確認や個別作業実績を算出できるなど、業務改善にもつながります。
また、電子化によって紙資源の削減・ペーパーレス化に寄与します。





目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

○デジタルサイネージ

デジタルサイネージに社内の最新情報や各種実績などの情報を共有する
目的はもちろん、社長のコメントや働きやすい職場を作り上げための各種
案内を表示しています。
情報伝達力のUPや情報の平準化を図り、全Crewがリアルタイムで同時に
情報を確認することができます。



○社内問い合わせのチャットボット活用

電話での問い合わせが多い部署を中心に、チャットボットを導入しています。
簡単なFAQや申手続きなどをチャットボットに任せることで、業務の自動化
を図り、担当者はチャットボットでは対応できないような複雑な業務に注力でき、
業務負荷の軽減に繋がります。





目的: 持続可能な消費生産形態と確保する

目的: 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

J-クレジット制度を活用して、新ユニフォーム（カーボンオフセット付きカーゴパンツ）を導入しました。カーゴパンツ1着あたり約5kgのCO2削減に取り組んでいます。2021年度は合計で254着を導入し、1,255kgのCO2削減に貢献しました。

品番	色名	S	M	L	LL	3L	4L	5L	総計
A-4176	1 ネイビー					10			10
A-8076	1 ネイビー	3	15	42	25	18	10	1	114
A-8176	1 ネイビー	14	14	23	35	25	13	6	130
総計		17	29	65	60	53	23	7	254

※カーボンオフセット

地球温暖化を防止するために、経済活動や日常生活で排出される温室効果ガスを削減しようとする考え方、あるいはそのような活動の一つ。できるだけ温室効果ガスの削減努力をしたうえで、削減しきれない分の二酸化炭素などは、植林や森林保護、それらの事業への投資、排出権の取引などによって埋め合わせを行うもの。



カーボンオフセット 証明書

ダイセーロジスティクス株式会社 殿

貴社は、「カーボンオフセット付きユニフォーム」のご購入を通して、日本国政府が認証した排出削減事業から得られる「認証済排出量」を活用した二酸化炭素 (CO₂) のオフセットに貢献されました事を証明いたします。

記

カーボンオフセット数量 1,255 kg - CO₂

(1) 排出量(クレジット)種別
: J-クレジット制度 日本国認証制度

(2) 対象温室効果ガス
: 二酸化炭素 (CO₂)

(3) クレジット識別番号
: [A-4176] [A-8076] [A-8176]
: JC-100-000-002-894-887-JC-400-000-002-895-186
: JC-100-000-004-705-636-JC-400-000-004-705-765

(4) プロジェクト種別
: 株式会社松島木材センターによるCO₂削減事業
: 製材所におけるボイラの更新・燃料転換 (A重油→バイオマス)
: 株式会社アマケによるCO₂削減事業
: 種簡農場におけるボイラの更新・燃料転換 (A重油→バイオマス)

(5) 取消方法
: J-クレジット用無効化口座へ移転

2022年 2月 16日
広島県福山市南町大字戸手68
株式会社 コーポレート事務局
代表取締役社長 日野 映子



目的:すべての人々の水と衛生の利用可能性と 持続可能な管理を確保する

目的:持続可能な消費生産形態を確保する

リサイクル運動を行っています。

(ペットボトル・古紙・段ボール・鉄くず・使用済みストレッチフィルム等) を行い、ごみの減量化と、資源リサイクルとリユース分別の徹底をしています)

また古着リサイクルの回収を行い、一人でも多くの難民の方のお手元に届くよう活動しています。

環境4Rのうち、リユース(まだ使えるものを、くりかえし使うこと)、リサイクル(資源としてまた利用すること)の2Rを進めています。



あらゆる年齢のすべての人々に向けて

- (健康的な生活を確保し、福祉を促進)
- 住所管轄地の「社会福祉協議会」へ寄付 (使用済み切手も寄付)
- 「ペットボトルキャップ回収」をして世界の子供たちに「ポリオワクチン」を
- SDGs私募債発行し手数料をセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ寄付
- コンタクトレンズケース回収し障がい者の方の自立・就労支援
- プルタブ回収し、車いす寄付のお手伝い
- ピンクリボン活動 (寄付とバッジ着用)



働きがいに向けて
(持続可能な経済成長へ)
働きやすい職場認証制度に合格



ワークライフバランスに向けて
(すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保・生涯学習の機会を促進)

- 女性Crew向けセミナー実施
- 各種免許・資格支援制度の導入
- 各種研修 (新卒入社・中途入社・管理職・ハラスメントセミナー・安全教育セミナー・ドライバー研修等)



環境に向けて
(気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策)

- 太陽光発電
- 尿素SCRシステム
- グリーンエコプロジェクト (CO2/25%削減)



持続可能な未来のために、ダイセーログはSDGs達成を推進してまいります。

レジリエントな世界に向けて

(インフラ構築、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進)

- DX (デジタル・トランスフォーメーション) 構築
- ISMS (Information Security Management System) 「ISO/IEC27001:2013」の認証を取得



大切な水と環境衛生に向けて
(すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理、持続可能な消費生産形態を確保)

- リサイクル運動 (ペットボトル・古紙・段ボール・鉄くず等)
- 環境4Rのうち2R実施中/リサイクル&リユース
- カーボンオフセット付きユニフォーム導入でCO2削減

